



あゆむ
塩田 歩夢 さん

●田沼西中学校 3年
夢の実現へ

僕の夢。それは、教師になることです。

この夢は小学校の頃からの夢でした。人のためになるような仕事、人に教える仕事に就きたいという考えからです。

この夢をかなえるために、勉強や生徒会活動など、さまざまなことに積極的に取り組んできました。そして、目標の高等学校の入学試験に合格し、一步一步、夢の実現に向けて頑張っていきたいと思います。



佐野ブランドキャラクター
さのまる

市長からの メッセーヅ



市内では梅林公園、朝日森天満宮の「梅」、柿平の「セツブソウ」、秋山の「ザゼンソウ」など花の便りも聞かれる頃となりましたが、市民の皆さんはいかがお過ごしでしょうか。

先月21日土曜日に佐野市民体育館にて、さのまるの4歳のお誕生日イベント「さのまる学園天国」を多くのゆるキャラたちも参加して盛大に開催をいたしました。多くの市民の方々をはじめ、遠方からもお祝いに駆けつけてくれるファンもあり、大いに盛り上がりました。本市ではこのたび「シティブロモーション推進基本計画」を策定いたしました。今後も「さのまる」を牽引役に本市の魅力を積極的にPRしてまいります。

さて今月6日金曜日から8日日曜日まで田沼では一瓶塚稻荷神社周辺を会場に、歴史ある初午祭が開催されます。周囲の道路は歩行者天国となり露店などが出展し毎年多くの人出で賑わいます。皆さんも出かけになってはいかがでしょうか。

また14日土曜日から、三龜山の「万葉自然公園かたくりの里」で「かたくりの花まつり」が開催されます。可憐な紫の花が一斉に咲きそろう光景をぜひご覧ください。

「佐野田沼インター産業団地」も順調に造成が進んでおります。企業の進出状況もこれまでに12の街区で契約、もしくは立地協定の締結をしております。残すところあと1街区のみという状況でございます。今後は地域産業の活性化、雇用の確保などがより図られていくものと考えております。

今月11日で東日本大震災から4年になります。当時の記憶も薄れがちとなりますが、市民の皆さんには改めて、避難場所の確認をするなど、普段からの備えを欠かさぬようお願いいたします。

岡部 正英



今回の表紙 「第65回大澤駅伝競走大会」佐野市運動公園ほか 2月1日(日)

佐野市運動公園陸上競技場を発着・中継点とした周回コースで開催され、合計141チーム、約800人の選手がタスキをつなぎました。

42.195キロで開催された一般の部と高校男子では、大澤さんの母校である日本大学と佐野日大高校がデットヒートを繰り広げました。



橋本 喜美子さん

(出流原町)



○プロフィール

栃木県男女共同参画推進委員

家庭教育の支援や、女性の社会進出の
助けに尽力。

支えていただいた皆さんに
恩返しを

橋本さんは、保育士として長い間
幼児教育に携わり、定年退職後は自
己啓発に努めています。

4年前に県が募集した「とちぎ次
世代づくり2011」に参加し、「と
ちぎつばさの会」会員となり、世界
で一番幸福な国と言われるデンマー
クでの現場研修では、政治の分野で
も当たり前のように女性が活躍し、
男女共同参画が実施されていること
に感銘を受けたそうです。

また、橋本さんは、昨年9月に発
足した「佐野市まちづくり条例の会」
に参加しています。そこで自治基本
条例に関する基礎知識を学び、市民
の立場からこの条例の策定に携わっ
ていきたい、と思っているそうです。

他にも、家庭教育支援「チームさ
の」のメンバーとして、幼稚園、保
育園、小学校、企業で、家庭教育に
関する講座を実施し、子育ての悩み
などを解決する手助けを行っている
ほか、出流原小学校で児童に読み聞
かせを行っています。

現在もさまざまなところで、活躍
されている橋本さん。男は外で仕事



出流原小で佐野市訪米団の紹介を
する橋本さん

をして、女は家庭を守るということ
が当たり前という風習が強い日本の
中で、保育士として働いてきたこと
そして現在活動していることは「家
族の協力のおかげで、たいへん感謝
しています」と話していました。そ
してこれからは「たくさん活動を
通し、家族や社会に少しずつ恩返し
をしていきたい」とのことです。

橋本さんの今後の目標は、男女共
同参画に関する国内最大級のイベン
トである「日本女性会議」を佐野に
誘致すること、そして、子どもたち
に国際交流に関心を持ってもらい、
佐野市から世界へ羽ばたく手助けを
することだそうです。

橋本さんの今後のますますのご活
躍をご期待いたします。

(市民記者 中里聖子)

佐野弁 ばんざい

「貶す」ことを強めていうときに
はカッペナスという

人の欠点を取り上げて非難したり、人の過失を取り上
げて悪口をいったりすることを、共通語では一般にけな
すとか難癖なんへきをつけるといいます。方言では、これをカッ
ケナス・ヘナス・カッペナスなどといいます。これらの
方言の成り立ちや用法などについて述べてみましょう。

カッケナスは「掻かきけなす」が変化したものです。け
なすの語頭に「掻かき」(接頭語)が付いているのは、けなす
をより強めるためであって「掻かき」にはこれといった意
味がありません。

ヘナスは、けなすが訛なまったものです。かつては県内の
各地で広く使われていましたが、カッケナスやカッペナ
スが勢力を伸ばすようになると、それに圧倒されヘナス
の分布地がだんだん狭くなってしまいました。現在、ヘ
ナスを使用しているところは県北地方です。

カッペナスは、ヘナスに「掻かき」が付いたものです。カッ
ケナスに比べて、言い方にややぞんざいな感じがすると
いわれています。

「絵をカッペナシたり、料理をカッペナス人がいるン
だけど、あんなこといわなくなつてイカンベ(いいだろ
う)にねえ」

カッペナスを使用する年齢は中・高年齢に多く、若年
層は減少の傾向にあります。「けなす」の訛なまり語にコナ
スがありました。しかし、今ではこの方言もすっかり消
え、死語となってしまいました。(市民記者 森下喜一)

